			●∶美肔済	<b>A</b> :	美別	也(検	割)・	٢	(	∪:ホ										
具体	的な取組の柱			_				_			— 美	き施す	する機	関						
1	事項	課題 の 対応	目標時期	関東地	気象庁	水機構	栃木県	<b>羊埼玉</b>	足利市	栃大野	: 桐	太田市	館林市	板倉町	明和	千代四大泉	こと 単野	加須東	東武鉄	わたらせ淫
	具体的取組	73110		整	庁	構	県県	県	市	市市	市	市「	市市市	i m	町片	·田町 田町	[ BT	須市本	道	1毛電鉄 0世渓谷鉄道
	一ド対策の主な取組																			
1	■洪水を河川内で安全に流す対策		1				_	_	_		_	_	_	_	_	_		_	_	
	①浸透対策 ②バイピング対策 ③流下能力対策 ④事前防災等の必要な樹木伐採・河道掘削の実施	Z	継続して実施	•			<b>A</b>													
<b> </b>	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		ı				_	_			—	—	—	<del></del> -		—		_		
	①円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備 ※例…防災無線スピーカーの増設、民間企業等と連携した一次避難場所の確保、避難経路の整備、コミュニティFM を活用した避難の呼びかけ、監視用カメラの設置等 ②排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	H·I·J	継続して実施	•					•	•	•	•	•	•	•	• •	•	•		
	※重要施設・重要設備等…非常用電源等	S·T·V·X	継続して実施	▲						• •		•	•	•	• 4	<b>A A</b>	•	•	•	• •
	③水防団の円滑な水防活動を支援するため簡易水位計や量水標等の設置	N	継続して実施	•			• 4											•		
	フト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組																			
	<ul><li>情報伝達、避難計画等に関する取組</li><li>①避難勧告に着目したタイムラインの策定及び関連機関との連携状況や訓練の実施等を踏まえた見直しの検討</li></ul>	D	令和3年度から 順次実施	•	<b>A</b>	<b>A</b>	• 4	•	<b>A</b>	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	• •	•	• 0
	②広域避難計画の策定	E·F·U	継続して実施				<b>A</b>		0	<b>A A</b>	<b>.</b>  ▲	0	<b>A</b>	•	<b>A</b>	•	<b>.</b>	<b>A</b>		
	③住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報 の提供やプッシュ型情報の発信	н-ј-к	令和3年度から 順次実施	•	•	•	• 4	<b>A</b>	•	•	•	•	• •	0	0	<b>A</b>	•	•	•	• 0
	④情報伝達手段の多重化としての防災無線やコミュニティFMを活用した避難の呼びかけ	H ·I·J	令和3年度から 順次実施	•			• 4	<b>A</b>	0	•	•	•	• •	0	•	• •	•	<b>A</b> •	,	• 0
	⑤洪水時におけるホットラインの強化	N	令和3年度から	•	•	•	•	•	<b>A</b>	<b>A A</b>		0	• •	•	•	• •	•	• •		<b>A</b> •
١.	■ 可吐力:往民策。 の用加 数本 制体に限力である		順次実施				L			L_		ㅗ	ㅗ	ш			ᆚᆜ		Ш	ш
	■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 ①想定最大外力を反映した洪水ハザードマップの策定および普及・啓発	Α	継続して実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	• •	•	•		
	②首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	E·H·I·L	継続して実施				0		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		
	③日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの整備	E•G	継続して実施				4		0	<b>A</b> C	•	0	0 0	<b>A</b>	0	• 4	•	•		
	④小中学校における水災害教育の実施	A·B	継続して実施	•	•		• 4	•	•	•	•	•	• C	•	•	• •	•	•		
	⑤要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の促進	М	継続して実施	•	•		Ī	•	•	•	•	•	• •	•	•	• •	•	<b>A</b>		
	⑥「危険度を色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の提供等、防災気象情報活用に向けた啓発・普及	в∙к	令和3年度から 順次実施		•															
	⑦大規模工場等・不動産事業者への浸水リスクと水害対策等の周知活動の実施	A·B	継続して実施				T		•	•	•	•	• C	•	•	• •	•	•		
	⑧共助の仕組みの強化	C·E·G	令和3年度から 順次実施	•			1		<b>A</b>	<b>A</b>		•	• C	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	•	<b>A</b>		
	⑨避難場所(避難所)・避難経路改善検討(コロナ対応含む)	E•F•G	令和3年度から 順次実施			T			<b>A</b>	•	•	<b>A</b> (	• C	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>		•	•	• •
	⑩ダムの防災操作に関する周知	B•Y	引き続き 定期的に実施			•	Ť	Ť												
2)ソ	フト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組					_					_	_		_					_	
	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																			
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	L·O	継続して実施						•	•	•	•	•	•	•	• •	•	•		
	②毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い箇所(重要水防箇所)の共同点検の実施	N•O	継続して実施	•	•		•	•	•	•	•	•	• C	)	• (	•	•	•	, 🛕	<b>A</b> •
	③水防(防災)訓練の実施	0.b.k	継続して実施		•		•	•	•	•	•	•	• C	•	•	• •	•	•		
	④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進	0·R	継続して実施	•					•	•	•	•	• C	) •	• (	•	•	•		
2)ソ	フト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動及びが	施設運用強化σ	取組																	
	■排水活動及び施設運用の強化に関する取組																			
	①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定 した排水計画の作成 ※排水計画・効率的、効果的な排水ポンプ設置箇所の選定までを含む。	V•W•X	継続して実施	•			•													
	②排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施及び関係機関との連携強化	v·w	継続して実施	•			• 4	<u> </u>	<b>A</b>	A 4		<b>A</b> .	<b>▲</b> C	<b>A</b>	<b>A</b> ,	<u> </u>		0		

<sup>※</sup>上記については、現時点で各機関からの報告をとりまとめたものであるため、記載されている内容以外にも類似の取組を行っている場合もあります。

		課題	足利市	ħ	栃木市	ī	佐野市	ī	桐生市	ī	太田市	<del>-</del> -	館林市	ī	みどりす	ħ	板倉町		明和町		千代田	IET	大泉町	Г	邑楽町		加須市	
項目事項	内容	の 対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
	┃    ┃ 対 <mark>策の主な取組</mark> ■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																									L		
	①浸透対策 ②パイピング対策	-																										
<b>=</b> 28	③流下能力対策 ④事前防災等の必要な樹木伐採・河道掘削の実施	Z.																										
<b>■</b> ½	難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備 ※ 例…防災無線スピーカーの増設、民間企業等と連 携した一次避難場所の確保、避難経路の整備、コミュ ニティFM を活用した避難の呼びかけ、監視用カメラの 設置等	H∙I∙J	①大型型部では では では では では では では では では では	①R2年 度~ 度~ 度~ 度~	登価という。 ・エーティア ・エーティア ・エーティア ・エーティア ・エーティア ・エーティア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	~ H29年度	①防災行政無線に残るでは、 に関して移動では、 を対し、経験をでは、 は、経験をでは、 は、と、大き、法・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	R2年度 	①コミュニティFM た活用した防力 き活用した防力 検放送を実施し にい炎行で、デジタ このいて、デジタ したを実施し したの炎行で、デジタ したを実施し	①H28年 度~ ②R4年	新たな情報伝達 手段として、H28 から番号登録した電電記 電電話 選載を音声で伝 達。	H28年度	①のないます。 では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、大野、大野、大野、大野、大野、大野、大野、大野、大野、大野、大野、大野、大野、	②R2年 度 ③R2年	平成30年度から からかけて、市行の大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	平成30年度~	・平成30年度に 280MHzデ送別に 同報無線び編 信平成31年 第25年度 第25 <del>第25年度 第25年度 第25年 第25年 第25年 第25年 第25 第25 第25 第25 </del>	H31∼	・平成28年度に ・ では28 年 変元を ・ では、	H28年度 ~	① 建開企企業等準 関化企業等準 関化して企業済 を放送する。無 が町を が町を がでする。 のに でに のに のに のに のに のに のに のに のに のに の	度~ ③R4年 度~	①平成29年度に デジダンルの無線を が災行の運用して を構し、運用して の確保のため、 で 経験を が を は を は を は を は が 終 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	①H29年 度~ ②H27年 度	・Jアラートの新大に ・Jアラート導入制 サンラーを導入した。 ・アリルとの ・アリル施済みをで ・アリル施済みをで ・東に ・家に、貸 がより、 はいました。 ・アリルを ・アルのを ・アルのと		MCA無機を、下一の電路では、1000円のでは、1000	平成26年 度~
	②排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施 ※重要施設・重要設備等…非常用電源等	S·T·V·X	庁舎の非常用発電設備について 耐水対策の充実 を図る。	H28年度	・本庁舎の冠水 対策工事を実施 【H29年度】 ・本庁舎の非常 用電源装置は屋 上に整備済。	H29年度	・庁舎の非常電源装置は、屋上に整備(72時間)済。	H26年11 L 月~ 泡 面	最上階 空間 かっぱい かいま できない かいま できない 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな という ない 大きな という ない かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	H30年度 ~R7年 度	庁舎は浸水想定 区域外のため耐 水対策の必要 はなく、設置して ある非常用電 についても2階 の室内である。		(1) ボース・アントなる広場を整備した。 ①庁舎非常用発電設備耐水対策の検討を実施が、 ・小型発電機の備蓄を行った。 小型発電機の備蓄を行った。 を配備した。	①H28年 度~ ②H30年 度	防災行政無線設備には非備で整理。 順定整理。 原含整定排。第一等 原を整定排。 「今和2箇所の指 「市政第所のGHP エアコンを備。	平成30年度~		H30年度 まで	庁舎の屋上に非常用を表電装置が 登置してあるが、 数数料を起いて、送るためので、耐水 について、耐水 化工事を実施し た。	H30年度	非常用発電機。 老朽化に伴い新 しい発電機を高 所に設置が可能 か検討していく。	午成30	庁舎は浸水想定 区域外である が、非常電源設 備について検討 していく。	H31年度 ~	庁舎及び非常用 発電装置は、盛 り土された場所 り、浸水想定と 域外となってい る。	実施済 [	各庁舎及び避 離所等の災害活 助拠点において よ、2・3階以上 こ非常用電源を 確保している。	実施済
),(3)	③水防団の円滑な水防活動を支援するため簡易水位計や量水標等の設置	N N	15 O 177-44					×	EDX C // 1150								EIKO									下 を 間 り	・平成28年度に 雨量計システム を導入済み。(時間外であっても 瞬時に警報メールが担当職員の 携帯に届く)	———— 平成28年 痩
	策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な 情報伝達、避難計画等に関する取組	選難行動のた	めの取組		_							_																
	①避難勧告に着目したタイムラインの策定及び関連機関との連携状況や訓練の実施等を踏まえた見直しの検討	D	渡良瀬川について策定済み。 タイムラインの見直しを検討している。	R1年度	タイムラインの見 直しを行い、防 災訓練や図上訓 練等で活用す る。	H28年度	<ul><li>・策定済。</li><li>・必要に応じて更新する。</li></ul>	H28年6 月~	詳細版を策定  、H30出水期より試行運用を開始している。活用 後に振り返り、見直しを図っている。	H30年度 ~	策定済み	H28年度	①策定済。今後、浸水想定済を受水で見事に合かせ見直しを実施する。 ②タイムラインの見直しを行った。	①H28年 度 ②令和3	浸水想定区域に 居住する方がい る行政区に対 し、マイ・タイムラ イン作成講習会 を開催。	R4年度 ~	タイムライン策定 済み。 令和3年5月の避 難情報の改正に 伴い、タイムライ ンの見直しを実 施。		明和町タイムライ ンを作成済。 (利根川、渡良瀬 川、谷田川)	H30年度 まで	タイムラインは策定済み。関連機関との連携・訓練を踏まえ、見直しを検討していく。	令和元年 度~	タイムラインを策定済	H31年度 ~	タイムライン策定 済み。 タイムラインの見 直しを実施。	~	・利根川・渡良瀬 川タイムラインを 作成し、平成28 年から運用して いる。	平成28年 <b>妻</b>
	②広域避難計画の策定	E∙F∙U	浸水想定の見直 しの際、必要に 応じて、他市町と 連携し、広域避 難計画を作成・ 検討したい。		隣接する市町と 避難所の相互利 用について調整 し、広域避難計 画の策定につい て検討していく。	H28年度 ~	浸水想定の見直 しの際、必要に 応じて、各市町と 連携計画を作成・ 検討したい。	ا ا	策定に向け継続 って検討を行っ ている。	~	群馬県及び近隣 市町と連携を図 り、必要に応じて 広域避難計画の 策定を検討す る。		近隣町と連携 し、策定の検討 中。	H28年度 ~	策定に向け継続 して検討を行っ ている。 【R4年度】 桐生市との受援 り、開生市といるもり、用いている中 り、開発性のいて和5 年度策定下といる中 をできます。 は、おいてのは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	H30年度 ~	近隣市町と広域避難場所等について協議中。	H28年度 ~	近隣町と連携 し、策定の検討 中。	H28年度 ~	近隣市町と連携 して検討してい く。	令和2年 度~	近隣市町と連携し、検討していく。	H31年度 ~	近隣市町と連携 し、検討してい く。	H30年度 ~ ~ *	・地域防災計画 (風水害対策編) を改訂し、浸水 深の深い地域か ら浅い地域を 市内広域避難 市か逃難場所 を得て、4か所確 保した。	令和3年 度
	③住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やブッシュ型情報の発信・改善	н•Ј•К	ラインを活用した 防災情報の発信 体制を整備し た。	Ī	登録制メールや 緊急速報メール で、プッシュ型情 報を発信してい く。	H24年度 ~	LINEによるプッ シュ型情報の発 信を開始。	R2年度 ~ で	防災行政無線のデジタル化に併せ、情報発信としてスマートフォンアプリの運用を開始した。	R4年度	LINEによるプッ シュ型情報の発 信を開始。	R3年度 ~	防災アプリにより プッシュ型情報 を発信している。	令和2年 度~	防災防犯情報 メール及び防災 アプリ、LINEによ るプッシュ型情 報を発信してい る。	R1年度 ~			必要に応じ検討していく。	適宜	エリアメール・安 全安心メール・ヤ フ一防災アプリで 対応中。	ア 以前から	登録制メールや 緊急速報メー ル、LINEによる ブッシュ型情報を 発信している。	~	登録制メールや 緊急速報メー ル、Yahoo防災 速報で、ブッシュ 型情報を発信し ていく。	R3年度 ~ "	防災行政無線 や避難場所等の 情報を発信する 防災アプリを導 入した。	
	④情報伝達手段の多重化としての防災無線やコミュニティFMを活用した避難の呼びかけ	H∙I∙J			防災無線、コミュ ニティFM、その 他複数の媒体を 用いて災害に関 する情報を発信 している。		防災行政無線を整備している。フリーダイヤルを 関股してよりの 強逃した場合の 確認方法も整備 している。	R1年度 度 R1年度 pt 総カFた均	DIH桐生地区でまな、災害時による次 エティFMによる防 メリー・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学	②R4年 唯~	防災無線(一部地域)やコミュニティーFMによる 避難の呼びかけ は以前より行っ ている。	-	関係団体と防災協定を締結し、 防にでも続いても無線設備を整備した。	令和2年 度~	防災行政無線を整備している。フリーダイヤル・開設した場合の確認方法も整備している。				デジタル防災行 政無線を整備 済。		現在、防災無線での呼びかけを、 での呼びかけを、 実ニュニティFMな とを活用した、多 重化も検討して いく。	令和3年 度~	①防災無線など 整備済 ②避難所の開 設・空きであるサービ スの導入。	DH29年 度~	防災無線を整備 済みよ。防災無線 の試験放送及び 点検を実施。	R3年度 ~	・民間事業者に こまニディFM を整備しており、 災害時の活用も 検討している。	
	⑤洪水時におけるホットラインの強化	N	県、国の関係機関とのホットラインについて、年度初めに確認を 行っている。	毎年	未実施	-	県、国の関係機関とのホットラインについて、年度初めに確認を 行っている。	毎年 第	激しい気象現象 等が予想される 象に、 かホットラインを 舌用し、 今後の 気象ので確認して いる。	R3年度	必要に応じて強 化をしていく。	-	河川事務所とH 31年にホットライ ンを確認したが、 見直しを検討し ていく。	H31年度	各連絡機関との ホットラインにつ いて毎年更新し ている。	随時	各連絡機関との ホットラインにつ いて毎年更新し ている。	随時	各連絡機関との ホットラインにつ いて毎年更新し ている。	R有D+	関係機関とホット ラインについて 毎年更新してい る。	令和3年	訓練等を通して 関係機関と連携 を図っている。	随时	河川事務所や気 象台、土木事務 所とのホットラインを確認。	R3年度 ~	利根川中流4県 境広域避難協議 会による共同検 討を」実施する 本制を構築し た。	令和3年 度

		課題	足利で	ħ	栃木市	i	佐野市	ī	桐生市		太田市	ī	館林市	みどり	市	板倉町		明和町		千代田	<b>m</b> T	大泉町	г	邑楽町	-	加須市
項目事項	内容	の 対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時期
	赤から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 ①想定最大外力を反映した洪水ハザードマップの策定 および普及・啓発	Α	想定最大規模降雨を踏まえた洪水・土砂災害ハザードマップに更新した。	R3年度	・新規公表した 浸水想定区域等 び土体炎では では で で で が で が で が で が で で が で で で で	R4年度 ~	想定最大外力を反映したハザードマを見たのです。大学で作成した。改立計画を指っていていた。対した。対した。対した。	R3年度	想定最大規模における洪水ハ ザードマップを策定し、全戸に配 市した。また、住 円のけた。また、住 ドマップの活用 についての出前 講座を実施して いる。	の年度 度 避避なたを	)防災マップを削断し全戸配 同。 ②災害に応じた 建難所の確認や 建難のポイント 選難所のポイント 過難したが掲載され 避難し、全戸 己付した。	度 ②R2年	①新たな浸水想定を基にしたハザードマップを作成、配布し、防災請演会の開催に加え、市広報媒体及び、金人ディアを使って周度(②要配慮者対策の一(2)フとして、外国語、キャリードブック語作成(英語、中国語、ミャンマー語、ペナナム語)し、HPに掲載した。 ③ 選馬県原が公表した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新規で設定されたことに伴い、 たことに伴い、 水・土砂災害ハ ザードマップを	, 共 令和元年 度	想定最大出力を 考慮した洪水ハ ザードマップの に情報を含んだ 「板倉町成じ、毎 戸配布済。	R2年度	想定最大出力を考慮した洪水ハ情報を含ん防災明和町総合防災でップ」を作成済。今後周知活動に努めていく。	H30年度	平成30年3月策 定済。	平成29 年度	・5段階の警戒レベルなど情報を防災マップ(メッチードマップ含む)を作成し、全戸配布した。	R4年度	平成30年1月策 定済。	H29年度	・避難発令基準 や避難場所を見 直しし、ハザード 可を作成し、 周知 全戸配布した。
	②首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難 訓練の実施	E·H·I·L	避難所従事職員を対象としたコロナ禍における避難所開設運営研修を実施。	RZ 平及	・平成28年8月に 水害を想定した 図上訓練を実 施。	H28年度	平成31年61二水 害を想定した図 上訓練を実施 (防災関係機関 と情報伝達訓練 も実施)	H28年4 月~	市役所、消防本部、及び消防団合同の図上訓練を事前に内容を知らせないブライント型で実施し、首長も参加した。	災年度 営	炎害対策本部運 営訓練を実施し こ。	R4 年度	市長を含む災害 対策本部員で洪 水を想定した図 上訓練を行った。 R2年度は、災害 対応セミナーを 実施した。	【R3年度度 みどり市防災 練を実施した。 R4年度以定。 【R4年度と 令和3年度と交 象地域を変更して実施。	令和2年 度~	毎年実施している。	毎年	総合防災訓練の中で、避難訓練 を実施した。	H30年度	隔年実施の防災 訓練や災害対応 図上訓練を実施 している。		平成29年度総合 平成29年度総合 防災訓練を実施 した。 令和元年度に総 合防災訓練を実 施。	隔年で実施	令和3年9月5日 総合防災訓練を 実施。	隔年で実 施	・令和3年8月27 日、大規模水害 に備え、総合水 客区上訓練を実施 した。
	③日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの整備	E∙G	本市に影響のある河川の浸水想 る河川の浸水想 定区域の見直し 後に取り組みた い。		一部実施済みでにあるが、ハザード マップの更新と 保設 中世で 全球 大手 を 一部 大手 を 一部 大手 を できまれる できます また また できます また いっぱい はいまい また いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	~	ハザードマップ 作成後に、必要 に応じてまるごと まちごとハザード マップの検討を 行う。	H30年度 以降	一部地区で整備 済み。他地区に も啓発を行って いる。また、地域 の自主避難計画 の自成を支援し ている。	か 8年度 【I 選グ	であることまちごと サードマップ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R2年度 ~	浸水想定区域の 見直し後に検討 する。	を 今後、検討して いく。	-	設置場所を検討中で接動のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、変性を、なま、地のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	H29年度 ~	必要に応じてま るごとまちごとハ ザードマップの検 討を行う。	-	想定浸水深看板を町内30カ所の電柱に設置した。	令和2年 度	実施に向けて調 整中。	H31年度	町内小中学校に 想定漫水深のス テッカーを設置。	R3年度	・洪水時の想定 浸水深の公共施 会和3年 設等へ想定浸水 度 深を掲示した。
	④小中学校における水災害教育の実施	A•B	社間災いる。習て災マ身防ん雨想にした。後、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、		栃基本市市が災教女」 ボ基本の成立を作力では、 を作力をを行う取分では、 を行う取分では、 を行う取分では、 でや進くでや、 でや変うをする をでいる。 でい。 でいる。		小中学校の要請 により出前講座 を行う。	H28年4 月~	社会科や理科、保健体で、以上ででは、水田では、大田での時点になり、水田でのは、大田でのは、大田でのでは、大田でのでは、大田でのでは、大田でのでは、大田でのでは、大田でのでは、大田でのでは、大田でのでは、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田では、大田	を会かる改本旅 ②し	小学校4年生 対象を1分割 を1、ペーランが追引す がいている。 がいている。 がいている。 からでは、 がいている。 からでは、 がいている。 からでは、 のっと。 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 からでは、 のっと。 からでは、 のっと。 からでは、 のっと。 からでは、 のっと。 からでは、 のっと。 からでも、 のっと。 からでも、 のっと。 からでも、 のっと。 のっと。 のっと。 のっと。 のっと。 のっと。 のっと。 のっと。		①一部の中学校で実施中。 ②小学校4校で 防災講座を行った。 ②小学校1校に 3小学校1校に 3小学校1校に 3小学校1校に 3小年春東施、1校で県 の実施、1校で県 教育を支援	3 _	-	小学4年生を対象に、水防学校を毎年1回実施している。 い社会科で用いる副誌本の改訂を行った。	毎年	中学校にて明和中学校体験型防災訓練を実施。	R1年度	千代田西小学校 5年生を対象院 5年生を対象開催。マイタギムラナインの授等の高 が防工法体験 を実施した。	令和元年 度	一部の小学校へ 備書を配合 場で放教育を 実施している。	H29年度 ~	教員によるハ サードの選生にマッ実施。 アード明神経歴に、立、選集に ・重の選難に、重の選難に ・重の選難に ・重の記 ・重のでは、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R2年度 ~	・小中学校の全 児童生徒に防災 知識と意識の高 損を市防災一ト」 を作成配付から を作成配付が でもかり、から を作成配付が でもかり、から でもから でもから でもから でもから でもから でもから でもから でも
	⑤要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の 促進	М	避難計画のでいた。 を受ける。今後も継いいた。 を受ける。今後を受ける。 を受ける。 をでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	<u>E</u> H28∼	福祉担当課と連携し、要配慮者利用施設における避難計画の作の支援や訓練の支援を行っている。		・平成處31年3月日に を受ける。 ・中成處31年3月 ・中域200 ・中域200 ・中域200 ・中域200 ・中域200 ・計劃を200 ・計画200 ・・計画200 ・・計画200 ・・計画200 ・・計画200 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H30年度 ~	①R4.3月現在のに記載される用地域が1000 地域が1000 地域が1000 記要配慮ので定済である。 ②R5.2月画なれた済み、 ②R5.2月画なれた変別には過れるで変われた。 ②R5.2月画なれた変別にはよる策争をでいた。 できる でいてきる でいく。	R3年 し の R4年 し ~ 画	核当施設に対 、水防法改正 ) 逸旨を説明 、避難確保計 の策定・訓練 )実施を促す。	H31(R1) 年度~	計画策定にかか わる電子ル施モデル施モデルを選定した。おいて 度を記した。おいて 定を行慮者利を実際に説明会策し、計事を定 支援を定し、計事施し 大。令和とを定 支援を和とした。令和とを定 を担じ、計事を定 支援を和とした。令和とを定 を目指す。	浸水想定定域施 浸速者施利 以害配が、区配近 以害計るにない。 者避難定して対 を第年度でいる を第年度で成が でで で で で で で で で で で で で で で で で で で	B H30年度 ~R3年 度	要配慮者施設の 避難計画の策定 及び訓練を支援 する。	H29年度 ~	計画策定の支援を行う。	H30年度 ~	要設画連禁を受ける。 要設画連維支年を発表している。 大学 を できない できない できない できない できない できない かい かい できない かい	令和4年度	地域防災計画の改訂により新たに対象となった。施設の改選計画を決の支援を回り支援を回り、対象施設は、対象施設は、対象施設は、対象を設定が、対象を設定が、対象を設定が、対象を対象を表す。	R4年度	健康福祉課と連携と定施大会には 関連を表示されて の支援となるが 対のの要となるが でが 関連を でが で が に で が に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	H30年度 ~	・要配慮者利用 施設の管理確保 計画を開放とび 訓練の実施につ いて周知を未提出 とともに、の再列を未提出 施設、提出確認、提出確認、 提出確認、 記載、提出確認 計画で頼を行っ た。
	⑥「危険度を色分けした時系列」及び「警報級の可能性」の提供等、防災気象情報活用に向けた啓発・普及	B∙K					。。。。。。																			
	⑦大規模工場等・不動産事業者への浸水リスクと水害 対策等の周知活動の実施	A∙B	洪水・土砂災害 ハザードマップに 更新し、周知を 行った。	- R3年度	洪水ハザード マップによる周 知をしている。	~	・想定最大外力 を反映したハ ザードマップを作 成しHpなどで周 知している。	H30年度 ~	水害についてH P、広報等にお いて周知を行っ ている。	8年度 月	大規模工場等の 用途及び規模の 基準を条例で制 E済み。		新たな浸水想定 を基にしたハ ザードマップを大 規模工場等を含 む各企業に配布 し、周知した。		-	「板倉町防災マップ」により周知している。(従前は 洪水ハゾードマップにより)	H30年度 ~	「明和町総合防 災マップ」により 周知している。	H30年度	防災マップを作成して周知をしている。	- 平成30 年度	総合防災マップ を作成し、周知し ている。	H30年度 ~	防災マップを作成し周知している。	H29年度 ~	工業団地に立地 する工場等に対 し、ハザードマッ 令和元年 ブを送付し、浸 皮 水リスク等につ いて周知した。
	⑧共助の仕組みの強化	C•E•G	・地区防災計画 の策定支援を実 施している。		・地区防災計画 の策定支援を実施している。 ・出前講座等に より、自主防災 組織の設立につ いて周知してい る。	山20年中	・防災講話により、自主防災組織の設立や地区 防災計画につい で説明している。	H30年度 ~	出前講座や自主 防災会の訓練等 を通して共助の 必要性について 啓発を行う。	ᇤ	出前講座、マイ・ 3イムライン作成 講習会を実施し た。	R4年度	地区防災計画を 策定した。 R1:2地区 R2:2地区 R3:3地区	:		町と防災士との 連携強化のため、防災士連絡 会を設立した。	R4年度	自主防災組織強 化育成事業をし て、防災をし 非常用発電機等 を各地区へ配備 した。	R2年度	自主防災組織の 町内全地域の設 置を目指し、共 助の仕組みの強 化を図っている。	令和3年	・各自主防災組 織等の訓練を通 じて連携を強化 する。		「邑助けネット ワーク」協議体に よる地域の見守 り活動や支援の 実施。	R3年度 ~	各地区防災訓練 及び自主防災組 線の出前講座等 により共助の必 要性について啓 発を行っている。

		課題	足利で	ħ	栃木市	ក	佐野市	ក	桐生市	太田	市	館林市		みどり市	ī	板倉町		明和町		千代田	BJ	大泉町	Г	邑楽町		加須市	
項目事項	頁 内容	の 対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
	<ul><li>⑨避難場所(避難所)・避難経路改善検討(コロナ対応含む)</li></ul>		コロナ対応を盛 り込んだ避難所 運営マニュアル	R2年度	コロナ対応を盛 り込んだ避難所 運営マニュアル	R2年度	体調不良者専用 避難所を市内4	0.00	①コロナ対策を盛 り込んだ住民向け 避難所開設運営マ ニュアルを作成し た。 ②市民の避難状況 把握や孤立化防止	さらなる改善し			R2年			住民避難計画に 関する検討委員 会を立ち上げ、 より安全かつ確		避難場所(避難所)を見直し、新たに福祉避難所	R3年度	感染症対策として の避難場所・避難 所の収容人員の見 直しを実施しなが	令和4年	避難所に感染症対策備品パー	R2年度	指定避難所に段 ボールベッドと パーティションを		コロナ対応を盛 り込んだ避難所 運営マニュアル	R2年度
		E•F•G	を作成し、避難 を作成し、避難 所開設研修を実 施している。		を作成し、避難 所開設訓練を実 施している。	?	か所に指定した。	R2年度	対策として、住民 自ら開設・通営す る集会所等の避難 場所について「地 域避難施設」として 市に登録を届出る 制度を創設した。	i 向けて検討し <sup>-</sup> いく。	C –	受所が小サ子受 校、広域避難等 入場所(計19施設)の避難所開設マニュアルを作成した。	R3年			実な避難のため、避難場所や避難経路の見直しを行った。	R4年度	としてR3.11.1竣 エの明和メディカ ルセンタービル を指定した。	{ ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` ` `	ら、感染対策備蓄 (防災ルーム等)を 購入し、備蓄品の 強化を図っている。	度	ティション等)を整備。	~	備蓄。 感染症対策用品 を備蓄。	~	を作成し、避難 所開設訓練を実 施している。	~ ~
	⑩ダムの防災操作に関する周知	в∙Ү																									
	  策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の	の確保のため	の水防活動の取料	£																							
■力	K防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 ①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施											т т															
		L·O	Eメールにて指令を発信しており、随時確認を行っている。今後も継続していく。	毎年	防災無線や消防 無線、登録制 メールを活用し、 情報伝達手段を 確保し運用して いる。	左左中#	無線やメールな どを活用し情報 伝達手段を確保 し運用している。		年間を通して定 期訓練等におい て実施している。	度 消防本部を通り て消防団との選携を図っている	<u> </u>	消防団が水防団を兼ねており、伝達のに記や実施については、日頃の訓練や災害現場等で行っている。	29年度 日内	防団が水防団 兼ねており、 頃から連携し いる。	_	消防団が水防団 を兼務しており、 伝達の確認やは 施については、 日頃の訓練やや 災現場等で行っ ている。	-	消防団が水防団 を兼務しており、 伝達の確認や実 施については、 日頃の訓練やで 災現場等で行っ ている。	毎年	消防本部を通じ て消防団との連 携を図っている。	_	消防団が水防団 を兼ねており、日 頃から連携して いる。	_	消防団が水防団 を兼ねており連 携はとれている。	- i	水防団への連 各体制について よ、水防計画に て設定している。	実施中
	②毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い 箇所(重要水防箇所)の共同点検の実施											河川事務所が実				国、県が実施している重要水防									リ に 力	水防団と国、 県、市による合 司巡視を毎年実 をしている。	
		N∙O	重要水防箇所等の共に対している治・では、 の共でいる治・では、 今後も自かの、 係者に参かけていく。	- 年	国・県が実施する重要水防箇所 等の共同点検に 参加している。	毎年実施	県や消防団、地 元町会と重要水 防箇所の点検を 実施している。	H28年4 月~	国・県が実施している重要水防 箇所合同巡視に参加している。	消防、警察、地域住民が参加し、重要水防管所の巡視を実施した。	R4年度	施する共同点検	29年度	-		箇所等の共同点	29年度	国、県が実施している重要水同な重要水同な重要水同な画等の共同は 箇所等の共同は一地 に消とともに 参加している。	毎年	国、県が実施しえ要る重要水防カ所の点検に消防団とともに参加している、	毎年	国、県が実施している重要水防 箇所点検に参加 している。	-	国、県が実施し ている重要水防 箇所点検に参加 している。	毎年 # B B B	平成27年度に、 利根成30年岸を 利根成30年岸の 中最川団、沿近路 東別川田、沿近路 大記の 大記の 大記の 大記の 大記の 大記の 大記の 大記の	実施中
	③水防(防災)訓練の実施	O·P·R	令和4年度に水 防演習を実施し た。	隔年	栃木県と共催で 水害も想定した 総合防災訓練を 実施した。	D4年中	毎年、出水期前 に1回以上水防 訓練を実施して いる。	毎年	毎年、水防訓練 を実施している。	総合防災訓練 水防訓練を隔す で行っている。 【R4】 水防訓練を実力 した。	手 隔年で実	証を考慮した訓   施	隔年実 毎年	-	-	総合防災訓練 (隔年)及び避難 訓施している。 部はしている。 前はしている。 が所 が、所 が、所 が、所 が 、 が 、 、 、 、 、 、 、 、 、	-	総合防災訓練を 隔年で実施して いる。	隔年	2年に1回防災訓練を実施している。また毎年、水防管理団体である館林地区消防 を変換している。また毎年、水防管理団体である館が大阪訓練を実施している。	令和元年	平成29年度総合 防災訓練を実施 した。 令和元年度に総 合防災訓練を実 施。	隔年で実	館林地区消防組 合で水防工法訓 練を実施してい る。	毎年・リカ	加須市・羽生市 水防事務る水防 防団除を毎年6月 三栗成9年度年 東成109年度を根 北加須6回台・ 場に第66回台・ 場に第66回台・ 場に第66回台・ 場に第66回台・ 場に第66回台・ 場に第66回台・ 場に第66回台・ 場にある。	毎年実施中
	④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定 の促進	O∙R	消防団が兼任。 消防団員の入団 促進への取り組 みを継続してい く。		消防本部を通じて水防活動を汚集 う消防団の募等集 を推進している。	毎年実施	水防計画に基づき水防協力団体 き水防協力団体 の募集に努めて いる。	H28年4 月~	消防団が兼任しており、年間を通じて、随時消防団員の募集を促進している。	消防本部を通	Ţ _	館林地区消防組 合と連携し、水 防活動を行う消 防団の募集を推 進している。	80年度	-	-	消防団(水防団) の広報紙(年1 回を発行し、組織や活動内で同じを発行している 総紹介して可員 募集を行っている。	_	館林地区消防組合と連携し、水防活動を行う消防団の募集を推進している。	毎年	館林地区消防組 合と連携し、水 防活動を行う消 防団の募集を推 進している。	-	広報紙、ホーム ページ、各種行 事で募集してい る。	-	ポスターの掲 示、成人式での パンフレットの配 布など継続的に 実施している。	毎年	リーフレット等 こより、水防団 員、消防団員を 適時募集してい る。	継続して実施
	<mark>策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動</mark> 非水活動及び施設運用の強化に関する取組	の回復を可能	能とするための排水	《活動及び	施設運用強化の取	組			•			<u> </u>															
19	①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設情報の共 有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した 排水計画(案)の作成 ※ 排水計画(案)・・効率的、 効果的な排水ポンプ設置箇所の選定までを含む。	v·w·x																									
	②排水ポンブ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施及び関係機関との連携強化	V-W	ポンプ車の出動 要請について渡 良瀬川河川事務 所と確認済み。	D4年度	排水ポンプ車出 動要請の連絡体 制について再確 認した。	- 左中地	排水ポンプ車出 動要請の連絡体 制について再確 認した。	H28年4 月~	関係機関との連絡体制の確認、検討を継続して行った。 毎年、災害対策 用機器の操作訓練に参加している。	排水ポンプ訓糸を実施した。	<sup>東</sup> R4年度	災害対策用機械 の操作訓練に参 加した。	29年度	-	-	役場にポンプ車 R を配備し、冠水 R を高所の排水を行 へ あるよにしている。		役場にポンプ車を配備し、冠水 箇所の排水を行 えるよにしてい る。	R1年度 ~	関係機関との連 絡体制の整備を 図る。	_	災害対策用機械の操作訓練に参加していく。	H31年度 ~	災害対策用機械 の操作訓練に参 加した。	実施中は	災害対策用機械 の操作訓練に参 加した。	排水計画未策定

概ね5年で実施する取組【R4までの取組状況】

項目	事項 内容	課題の	関東地整		気象庁		水機構		栃木県		群馬県		埼玉県		東日本旅客鉄道株式	式会社	東武鉄道株式会社	上毛電気鉄道	雄株式会社	わたらせ渓谷鐡道株	t式会社
		対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時	持期 実施F	内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	期 実施内容	時期	実施内容	時期
	ド対策の主な取組 ■洪水を河川内で安全に流す対策																				
	①浸透対策 ②パイピング対策 ③流下能力対策 ④事前防災等の必要な樹木伐採・河道掘削の実施	Z	【取組内容】 堤防の浸透対策、流下能 力対策の実施 (実施内容] ・実施予定箇所の浸透対 策・流下能力対策につい て、H31(R) 年度に完了。 引き続き、浸透対策・流下 能力対策、樹木伐採・河 道掘削を実施	R7年度まで				秋山川の改良	<b>经</b> 復旧事業	R6年度まで											
Ī	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 (①円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備 ※例・防災無線ズビーカーの増設、反開企業等と連携 した一次避難場所の確保、避難経路の整備、コミュニ ティFM を活用した避難の呼びかけ、監視用カメラの設 置等 (②排水施設の耐水化、庁舎の耐水対策の実施	H-I-J	【実施内容】 河川監視用カメラの設置 【実施内容】 H28年度に監視用カメラを 2基増設済 R2年度に監視カメラを10 基増設	R7年度まで																	
	※重要施設・重要設備等…非常用電源等	S·T·V·X	【取組内容】 庁舎および排水機場の耐 水化手法の検討 【実施内容】 庁舎及び排水施設につい て、外力毎の耐水化工法 の概算費用、課題の検討 を実施	R7年度まで											対策が必要と認められる 箇所には適宜対策を実施 する。	実施済	対応が必要な個所については適宜対策を実施して実施いる。	重要施設・重要設備 耐水対策については 要の有無を、適宜、6 ている。	、必 温生	信号設備・閉そく装置・信号設備の非常電源装置 置	€ 整備済み
	③水防団の円滑な水防活動を支援するため簡易水位 計や量水標等の設置	N	【取組内容】 簡易水位計および危機管 理型水位計の設置、保守 点検 【実施内容】 H28年度(下簡易水位計を5 箇所設置済。 H30年度(上危機管理型水 位計)箇所設置済。 H31年度は危機管理型水 位計(箇所設置済。	H31年度ま で				【危機管理型2 +H30~R1年度 +R2年度:48億 -R3年度:19億 [簡易型回22億 -R2年度:35億 -R3年度:29億  河川CCTV力 -R3年度:15億	度: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		- H30年度に危機管理型水 位計を22箇所設置済。 - R1年度に危機管理型水 位計を11箇所設置済型、 - R2年度に危機管理型水 位計を10箇所設置済。 - R3年度に危機管理型水 位計を5箇所設置済。	R4年度まで									
	対策の主な取組 ①逸げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な。 情報伝達、避難計画等に関する取組	避難行動のたる		!			-						'			•					
	①避難動告に着目したタイムラインの策定及び関連機関との連携状況や訓練の実施等を踏まえた見直しの検討	D	【取組内容】 県、市町のタイムライン作成、精度向上に対する支援 【実施内容】 129年度までに、作成に必要な水位情報等を提供し、支援した。	H29年度出 水期まで	(宇都宮地方気象台) ・毎年、栃木県防災固上総合訓練に参加し、災害対策本部(県庁)において気象解説等を実施。令和4年度は、「栃木県・那須町防災図上総合訓練」に参加。(8月3日) ・(東京 大学	随時	草木ダムの防災操作の内容や、避難判断の情報(ダム通知等の内容及び情報 通知等の内容及び情報 発出のタイミング等につい でダム通知関係期間等に 情報提供を行い、タイムライン作成の支援を実施。	・H30年度でに を策定済。 ・R2年度に会績 ・R2年度に会績 ・本台風つ変身見 施。 ・実施 ・法の改正等を ムラインの見間	和元年東日 を踏まえ、タ 見直しを実 害対策基本 ・踏まえ、タイ	適宜	+H30年度に県管理河川の タイムラインを策定済。 ・令和元年東日本台風を 受け、タイムラインを見直 し、R3年度に災害対策基本 直した受け、タイムライン を見直し。 ・市前村へ中小河川の浸 水想定区域の指定を踏ま えた。女化、タインの見直 しを依頼。	適宜	各自治体にタイムライン作成・見直しの働きかけを実 施	R3年度まで	大規模地震の発生を想定した総合防災訓練を実施し、フェーズごとの対応訓練や各所等にて避難訓練を実施し、対応状況の見直しを図ってる。	毎年9月	計画運休タイムラインを策定している。また、定期的に大規模水害等発生に備実施えた各種訓練も実施している。	済 毎年、9月1日(防災(に、訓練を実施してい	D日) 毎年9月 る。		
		E∙F∙U						広域避難計画 けた市への支	■の策定に向 援	適宜	・H30~R1年度に邑楽・館 林圏域において広域避難 検討会を実施。 ・県減災対策協議会にお いて広域避難について市 町を支援。	適宜									
	③住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やブッシュ型情報の発信・改善	н-л-к	【取組内容】 ・緊急速報メールを用いた 決水情報のブッシュ型配信 信 Twitter等のSNSを用いた リアルタイムでの情報発信 の実施および強化、継続 【実施内容】 ・緊急速報メールを活用した洪水情報提供 ・川の防災情報(等のHP による情報提供	H30年度~	(宇都宮地方気象台・前橋地方気象台) ・キキクル(危険度分布)通知サービスの提供。 【継続】		ダム通知のうち異常洪水時防災操作に係る通知については、Lアラートを介して情報伝達者に送付され、テレビ、ラジオやインターネットを活用して地域住民に伝達される取組を実施。	・R2年度から5 度~ ルを活用した 信を実施。	緊急速報メー ブッシュ型配		・県管理河川の数時間先 の河川水位や浸水範囲が 予測できる「葬馬県アル タム水害リスク情報シス テム」の運用を開始。一般 向けサイトがわみるぐん ま」を公開	適宜	・台風接近時など、風水害 の備えについて、県の防 災ボータルサイト、県防災 情報メール、県公式SNS (Twitter, Facebok, LINE)、県防災アブリによ り県民へ周知	適宜	大雨や台風などで計画運 休などを行う場合は、マス メディアやHPを通して、周 知を行う	通年	運行情報メールにより運 行状況に関する情報提供 実施 を実施している。	ホームページに運行 済 に関する情報提供を している。	状況 実施 通年		
	④情報伝達手段の多重化としての防災無線やコミュニティFMを活用した避難の呼びかけ	H·I·J	【取組内容】 ・水位計やライブカメラの 情報をリアルタイムで提供 ・Twitte等のSNSを用いた 水防災に関する情報提供 【実施内容】 ・洗水時におけるtwitter、 中等による河川情報等の 提供					・Lアラートによ を通じて住民 情報提供を図	への迅速な	随時	群馬県総合防災情報シス テムの改修。	適宜	・市町村の県防災情報システムへの避難情報や避難所情報、避難所混雑情報の入力と同時にアラートを発信し、メディアを通じて県民へ迅速な情報提供を実施している。	適宜	災害時はHPや駅の放送 案内を使用して周知を図 る	通年		群馬県および沿線自 と情報共有するととも ホームページ、全駅 放送により、周知を しいる。	に、 一斉 通年		

		課題	関東地整		気象庁		水機構		栃木県		群馬県		埼玉県	東日本旅客鉄道株	式会社	東武鉄道株式会	社	上毛電気鉄道株式	会社	わたらせ渓谷鐡道株式会社
項目 事項	内容	の 対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容 時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容時期
	⑤洪水時におけるホットラインの強化	N	【取組内容】 ・毎年、協議会の場でホットラインの連絡体制について確認 ・ホットラインの実施 【実施内容】・毎年協議会の場で状況確認を実施 ・従来の電話方式に加え、Web方式での実施を検討	R3年度~	(宇都宮地方気象台・前橋地方気象台) ・大雨、洪水等により早期の警戒の呼びかけが 必要な場合、連用基準に基づき自治体が実施 する防災対策の即時的な支援を図る。		ダムが異常洪水時防災 操作に至るおそれがある 場合に、ダムの警報区間 でダム操作の影響が大き	適宜	・知事が関係市町長に直接連絡する制度を創設及び運用している。		県管理河川におけるホット ラインを構築し、運用。 適宜			関係自治体や、河川管理者などとの連絡窓口を構築する				協議会等より要請を頂いた際は、検討いたしたい。		沿線にあるダム施設から 増水等の情報がfaxで提供 されることとなっている。
■平	寺から住民等への周知・教育・訓練に関する取組	l	IT.	1			1	l		l			1							
	①想定最大外力を反映した洪水ハザードマップの策定 および普及・啓発	A	【取組内容】 ・「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)の継続的な広報・ハザードマップや洪水浸水想定域図の周知 【実施内容】・想定量大外力を対象とした氾濫シミュレーション「浸水ナビ」を必要。 ・広報施設で、サザードマッフ、大大ビ「を必要。	H28年度~	(宇都宮地方気象台・前橋地方気象台) ・要請に応じて策定に必要な情報提供及び防災 気象情報等の普及啓発を支援。		市町村が作成するハ ザーマップの参考情報と して、草木ダム~高津戸 ダムまでの間の浸水想定 区域図を作成し、沿川自 治体へ情報提供。 また、作成した浸水想定 区域図は草木ダムHPにて 公表。	R2年度~	・利根川水系連合・総合水 防渡習への参加(R2、R3 中止)。 ・利根川水系連合・総合水 防演習へ参加(R4・茨城県 取手市)	(R2、R3中 止)。 ·利根川水	・各自治体でハザードマッ ブクス表を働きかける 34・	宜	・各自治体でハザードマッ アン表を働きかける で							
	②首長も参加したロールプレイング等の実践的な避難 訓練の実施	E·H·I·L							市に対し、実践的な避難訓練の実施を働きかけていく。	適宜										
	③日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとハザードマップの整備	E∙G									・R2年度に県滅災対策協議会において新たな取組として位置づけ。 ・R3、4年度に県滅災対策協議会において設置事例や制活用事例等を共有。	Ī								
	④小中学校における水災害教育の実施										7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7									
	(大阪家) 南本林 (お)・シンよう 別野乳 (下の (約1分の)	A•B	【取組内容】 定期時に総合合学習及が肯を 実施 【実施をはよる防災教育 ・ 「実施 という。 ・ 「実施 という。 ・ 「実施 という。 ・ 「下 で はいっこう。 ・ で はいっこう。 ・ で はいっこう。 ・ で で はいっこう。 ・ で で はいっこう。 ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	H30年度~ 適宜	(宇都宮地方気象台) ・小中学校や教育機関に職員を派遣し、防災知識に関する普及啓発を実施している。 ・気象台に小中学生の見学を受け入れ、気象や防災に関する説明を実施している。 ・栃木県教育委員会主催の「学校安全教育指導者研修会」において、数職員を対象に防災に関する講話を実施。(7月5日、28日、8月23日、9月15日、11月日、11月日、栃木県教育委員会主催の、とちぎ子どもの未来創造大学の出前講座「体験気象学」において、実験を通した気象に関する講座を実施。(8月9日佐野市等) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	宜			各土木事務所にて、河川 水難事故防止のため、 リーフレットを用いて防 災教育を実施する。	適宜	・県HPの出前講座リストに水災害に関する分野を掲載し、実施要望を受付・ ・防災教育の推進に向けてモデルをの選定を異め 育委員会と連携して進め る。 ・県滅災対策協議会の取 組として、R3、4ですべて のモデル校における防災 教育実施	宜	・要望に応じて出前講座を 実施する							
	⑤要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の 促進	М	【取組内容】 要配慮者利用施設の管理者を対象に、避難確保計画の策定に向けた説明会を実施 (実施の容) 平成31年3月15日に佐野市、栃木県、宇都宮地方内の要を出連者を対向けた説明をを開催 (大田・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・	H28年度~ 適宜	(宇都宮地方気象台・前橋地方気象台) ・要請に応じ避難計画策定に必要な情報提供及 が が び防災気象情報等の普及啓発を支援。 討	宜・要請あれば検					・H29年度に要配慮者利用施設位置と洪水浸水想定 区域を示す資料(Viewer) を市町に配布。一希望市 町村のモデル施設における避難確保計画作成、市 町村毎年デル施設における避難確保計画作成、市 町村毎の手引き解説。 ・令和3年度に両村関係部 し連携し、市町村際係部 局や施設管理者等に避難 確保計画作成を促す通知 発出。	宜	・各市町村に避難確保計 画策定を支援							

		課題	関東地整		気象庁		水機構		栃木県		群馬県		埼玉県		東日本旅客鉄道株式	会社	東武鉄道株式会	社	上毛電気鉄道株式会	会社	わたらせ渓谷鐡道株式	会社
項目 事項	内容	の 対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
	(⑥) 危険度を色分けした時系列) 及び「警報級の可能性」の提供等、防災気象情報活用に向けた啓発・普及性」の提供等、防災気象情報活用に向けた啓発・普及である。 (⑦) 大規模工場等・不動産事業者への浸水リスクと水害	в∙к			(令和4年度) ・線状降水帯による大雨となる可能性を半日程度がから気象情報において呼びかけを実施。(6月1日) ・指定河川洪水予報(国管理河川)の氾濫危険情報を予測でも発表。(6月13日) ・キキクル(危険度分布)「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合。(6月30日) ・大雨特別警報(浸水害)の指標の改善(6月30日)	<b>ルサロナ</b> マ																
	対策等の周知活動の実施	A•B																				
	⑧共助の仕組みの強化		「取組内容」 ・協議会等の場を活用して、選難時の声掛十や選 建誘導等の別線及び出水 時における実際の事例を大力を表 た取り組みを対す。 に取り組みを対す。 が表する実際の事例を ・広戦能とはれず・調マップの 初らせ等の防災関連のパ ンフレット等を設置 「実施、内容」・協議会等の場を活用し、 別線及び出水時の実分を ・広戦能とで、ザードマップ タイムライン等を掲示。	R3年度~							ぐんま地域防災アドバイ ザー防災土養成講座の開 催。	年2回程度	・県内市町村や防災講座 ・県内市町村や防災講座 へ「防災マニュアルブック (風水害・土砂災害地 成の普及を発。 ・在日外国人へのマイ・タイムライン作 成の普及のため、日本人担当者を対象に研修の実施。 ・医療的ケア児(重心児) の支援者のため、風水害 の傭え、マイ・タイムライン の作成に関する研修の実施。	適宜								
	③避難場所(避難所)・避難経路改善検討(コロナ対応 含む)	E•F•G													各駅などで近隣の避難場 所および避難経路を確認	実施済	定期的に避難経路や避難場所の確認を実施してい	実施済	定期的に避難経路や避難 場所の確認を実施してい	通年	避難誘導マニュアルに各 駅ごとの避難場所及び避	実施済み
	⑩ダムの防災操作に関する周知	в•ч					・草木ダム防災操作連絡 通知説明会を年1回定期 的に開催しており、今後も 継続していく。 ・草木ダム下流浸水想定 図の作成	期的に実施							している。		8.		<b>ర</b> .		難経路を指定している。	
	策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の 防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	確保のための	の水防活動の取組				•		•				•				•					
	①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	L·0																				
	②毎年、水防団や地域住民が参加し水害リスクの高い 箇所(重要水防箇所)の共同点検の実施	N∙O	【取組内容】 毎年、重要水防箇所の共 同点検を継続的に実施する 【実施内容】 H31.4.12に重要水防箇所 等の共同点検を実施した (R2年度以降は新型コロ ナウルルスを終拡大防止 のため実施を取り止め)	H28年度~ 毎年実施	(宇都宮地方気象台・前橋地方気象台) ・毎年、重要水防箇所等の共同点検に参加して いる。 (令和4年度はコロナウィルス感染防止のための 措置がとられている。今後も計画に基づき参加 する予定)	H28年度~			直轄河川の合同巡視に参加する。 果管理河川についても、 毎年、出水期前に関係自 治体、消防等と重要水防 箇所及び水資庫の点検 を行う。 水防団や地域住民が参加 する共同点検に参加する。	毎年	・重要水防箇所の合同点 検を実施。	毎年	・重要水防箇所の合同点 検を実施	毎年	関係個所より要請があれば検討する。	通年	協議会等より要請を頂いた際は、検討いたしたい。	i	協議会等より要請を頂い た際は、検討いたしたい。		出水期における防災対策 について(国土交通省)通 違により重要水防菌所の 点検を実施	毎年
	③水防 (防災) 訓練の実施	O·P·R			(宇都宮地方気象台・前標地方気象台) ・毎年、自治体等の水防訓練や防災訓練に参加 している。 (令和4年度はコロナウィルス感染防止のための 措置がとられている。今後も計画に基づき参加 する予定)	H29年度~			・利根川水系連合・総合水 防演習への参加 (R2、R3 中止)。 ・利根川水系連合・総合水 防演習〜参加 (R4・茨城県 取手市)		・R4年度に利頼川水系連合、総合水防液習及び水防技術議習会に参加。 ・関係市町村を含め、机上 訓練を実施	毎年	・利根川水系連合・総合水 防演習への参加 ・水防等型団体が開催す る水防訓練への参加									

		課題	関東地整		気象庁		水機構		栃木県		群馬県		埼玉県		東日本旅客鉄道株式	式会社	東武鉄道株式会	社	上毛電気鉄道株	式会社	わたらせ渓谷鐡道株	式会社
項目事	F項 内容	の 対応	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		O•R	【実施内容】 最新情報を入手した場 合、各自治体へ情報提供 している。	H28年度~																		
	対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回	復を可能と	するための排水活動及び旅	起設運用強化0	D取組																	
		v·w·x	【取組内容】 排水作業準備計画の作成 成 訓練等で判明した課題を 反映した計画の見直し 【実施内容】 渡良瀬川排水作業準備計 画(案)を作成済み。 排水ポンブ車を用いた大 規心いて、アウセスルートや 記置場所等を検討した排 水作業準備計画を作成 中。	H31年度 R2年度					・令和3年度に排水ポンプ 車3台を配備。	R3年度まで j	令和2年度に排水ポンプ 車3台を配備。	R4年度まで										
	②排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練の実施及び関係機関との連携強化	v-w	( 実施内容) 災施内容 東京対策用機械(排水ポンプ車、照明車等)の操作 訓練を毎年実施している。						・栃木県排水ポンブ車の 排水操作訓練を出水期前 に実施。	毎年(	渡良瀬河川事務所主催 D排水訓練に参加。	適宜	排水訓練に参加	適宜								

※上記については、現時点で各機関からの報告をとりまとめたものであるため、記載されている内容以外にも類似の取組を行っている場合もあります。